

2009 年 4 月 23 日

トヨタホーム株式会社
野村不動産株式会社

トヨタホーム・野村不動産 神奈川県下で初の共同事業マンション「ゼルクハウス」を販売

トヨタホーム（株）（以下、トヨタホーム、本社：名古屋市東区、取締役社長：森岡仙太）と野村不動産（株）（以下、野村不動産、本社：東京都新宿区、取締役社長：鈴木弘久）は、横浜市鶴見区にて分譲マンション「ゼルクハウス」（総戸数 64 戸、地上 7 階建て）の販売を 6 月下旬より開始する。トヨタホーム・野村不動産の共同事業としては神奈川県下初のもので、全国では 8 棟目（前身のトヨタ自動車（株）（以下、トヨタ自動車）での分譲を含めると 9 棟目）の共同事業マンションとなる。販売開始に先立ち、「マンションスクエア」（販売センター）を J R 川崎駅西口に開設し、4 月 25 日（土）より予約制の事前説明会を開催する。

「ゼルクハウス」の「ゼルク」（ZELK）は、『Zephyr（潮流）』、『Environment（環境）』、『Lifetime（生活）』、『Kindness（愛情）』の頭文字をとって独自につくった合成語で、トヨタホームは、これまでに「ゼルク」という名を物件名に冠した分譲マンションを 3 物件販売している。本物件は、～「ゼルク」の言葉に込められた暮らしに必要とされる本当の豊かさを求めた住宅～を開発コンセプトとしており、その思いをストレートに伝える為に「ゼルクハウス」という名称を採用した。また建物計画においては、川崎駅を生活圏としながらも、横浜アドレスの立地であることを踏まえ、“風格を備えた邸宅感”を意識した。

具体的には、ゼルクの語源ともなる「ZELKOVA（ゼルコーバ）」-樺（ケヤキ）の木をシンボルツリーとして植樹するほか、風合い豊かな外壁タイルの使用やリビングダイニング開口へのハイサッシの採用の他、トヨタ自動車の独自技術であるキーレスエントリーシステム「スマートキー」を全戸に標準採用し、快適性を高めている。

住戸プランは総戸数 64 戸に対し基本 12 タイプ。4 面採光のルーフバルコニー付タイプも 2 タイプ用意した。

トヨタホームは、トヨタ自動車でマンション事業を開始（2000 年）、その後 2004 年にトヨタホームにマンション事業を移管し、これまでに 14 棟（約 1,300 戸 ＊共同事業者分含む）の分譲マンションを販売している。また、野村不動産は、2003 年に「プラウド」ブランドを立ち上げ、～住まう方はもちろんのこと、創る者、そして地域の人々までもが「誇り」が感じられる住まい～というコンセプトのもと、19,000 戸を超える住宅を供給している。トヨタホームと野村不動産は、これまでに 9 棟（約 900 戸）の共同事業の実績があり、現在も「アリーナシティ」（名古屋市南区、2010 年完成予定）で共同事業を展開している。

「ゼルクハウス」のコンセプト、特徴および概要は次のとおり。

1. 主な特徴

①立地

「東京にいちばん近い横浜※」

I) 最寄駅は徒歩7分の「矢向」(JR南武線)、「川崎」(JR東海道線・京浜東北線)へも徒歩19分という好立地。川崎駅前を身近な生活圏とし、整然とした街並みの閑静な住宅地の中に位置する。

II) 「矢向」駅から、「川崎」駅を経由し「横浜」駅へ12分、「品川」駅へ12分と、東京にいちばん近い横浜という軽やかなアクセス。

※ JR東京駅と横浜市内にある駅との間で、直線距離が当プロジェクトの最寄駅である矢向駅が一番近いことを示す(約17.7km)。

②建物計画

『構え』、『質感』、『陽光』、『配慮』の4つに視点を置いて計画。

□『構えをつくる』(GATEWAY)

“門構え”と言える重厚感のあふれる景観をつくるため、ケヤキのシンボルツリーに加え、沿道には緑のアプローチとなる植栽を配置。邸宅の象徴ともなるゲート型のエントランスにて風格と高級感を演出。また、敷地内駐車場の出入り口にはリングシャッターゲートを設置し、防犯性を高めた。

□『質感を高める』(TEXTURE)

歳月を経るほどに味わい深く、美しく豊かな質感をつくりだすために、織部製陶(株)製の風合い豊かな質感の外壁タイルを採用。また、坪庭を望むエントランスホール、ラウンジ、ウッドデッキを配したフロントガーデンなど、上質な住まいに求められるべき丁寧なしつらえを施した。

□『陽光を採る』(SOUTHSIDE)

全住戸の87%を南へ向けた、明るく開放感ある住棟レイアウトとした。また、リビングダイニングの開口には約2.3m高のハイサッシを採用し、柔らかな自然の陽光と風を導く。

□『配慮』(UNIVERSAL DESIGN)

スマートキーのほか、防犯センサーも全住戸に標準装備。住戸内には床段差をなくしたフラットフロアや、保温効果に優れた低床式魔法瓶浴槽を採用するなど、防犯性と快適性を高いレベルで両立させた。また、CO2削減に効果を発揮する高効率熱源機「エコジョーズ」を導入、外構の一部植栽にはトヨタ自動車が開発した環境改善植物を採用、環境にも配慮した計画とした。

2. 概要

▽名称：ゼルクハウス

▽建設場所：神奈川県横浜市鶴見区矢向5丁目719番(地番)

▽交通：JR南武線「矢向」駅 徒歩7分

JR東海道線・京浜東北線「川崎」駅 徒歩19分

または臨港グリーンバス約5分、「静翁寺」バス停下車徒歩3分

▽売主： トヨタホーム株式会社、野村不動産株式会社
 ▽販売代理： 野村不動産株式会社
 ▽設計監理： 株式会社 I A O 竹田設計・木内建設株式会社一級建築士東京事務所
 ▽施工： 木内建設株式会社
 ▽着工： 2008年11月
 ▽竣工予定： 2010年1月下旬
 ▽引渡予定： 2010年2月下旬
 ▽構造・規模： 鉄筋コンクリート造、地上7階
 ▽敷地面積： 2473.82㎡
 ▽建築面積： 1291.48㎡
 ▽建築延床面積： 5561.70㎡
 ▽専有面積： 69.15㎡～88.04㎡（平均専有面積：約75.3㎡）
 ▽販売開始予定： 2009年6月下旬
 ▽販売戸数： 64戸（3LDK～4LDK）
 ▽販売価格： 4,000万円台（1,000万円単位）最多予定



【「ゼルクハウス」完成予想図】



【「ゼルクハウス」建設地とマンションスクエア】

以上